

人体構造機能学演習

[講義・演習] 第2学年 前期 必修 1単位

《担当者名》濱田 淳一 jun1hamada@hoku-i-ryo-u.ac.jp

【概要】

人体構造機能学 ~ とともに、これから学ぶ病理学、病態学、看護学などの基礎を支える科目である。人体構造機能学で学んだ知識を演習および実習によってさらに深める。

【学修目標】

- ・人体の設計図であるゲノム情報の読み方を習得した上で、各臓器間の相違を説明できるようになること。
- ・人体構造機能学講義で学んだ解剖学の知識をもとに、人体解剖のDVDの視聴および画像解剖学を通じて人体を構成する各臓器の位置関係ならびに各臓器間での情報のやり取りを臨床解剖学的に理解できるようになること。
- ・人体構造機能学講義において学んだ人体機能の知識を演習問題、デモンストレーション、実習によって深め、ヒトの「生きるしくみ」を説明できるようになること。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ゲノム情報の読み方	人体の設計図であるゲノムの構造とそこに書き込まれた情報の読み方について理解する	濱田
2	呼吸器系臓器の構造と解剖学的位置	人体解剖のDVDを視聴し、呼吸器系臓器の位置関係と機能を理解する	濱田
3	循環器系臓器の構造と解剖学的位置	人体解剖のDVDを視聴し、循環器系臓器の位置関係と機能を理解する。	濱田
4	消化器系臓器の解剖学的位置	人体解剖のDVDを視聴し、消化器系臓器の位置関係と機能を理解する。	濱田
5	消化器系および腎泌尿器系臓器の解剖学的位置	人体解剖のDVDを視聴し、消化器系および腎泌尿器系臓器の位置関係と機能を理解する。	濱田
6	生殖器の解剖学的位置	人体解剖のDVDを視聴し、生殖器の位置関係と機能を理解する。	濱田
7	中枢神経系臓器の構造と機能	人体解剖のDVDを視聴し、中枢神経系臓器の位置関係と機能を理解する。	濱田
8	画像解剖学	CTなどによる画像診断像をみながら臓器の空間的位置関係を理解する。	濱田
9	呼吸生理と生体検査(1)	呼吸器系臓器の検査法(スパイロメトリーなど)の原理を通して、呼吸器系臓器の機能を理解する。	濱田
10	呼吸生理と生体検査(2)	換気とガス交換を理解する。	濱田
11	呼吸生理と生体検査(3)	血液ガス分析値を解釈する。	濱田
12	心臓の生理学	心電図から心臓の機能を理解する。	濱田
13	体液の調節機構	輸液を例に体液の調節機構を理解する。	濱田
14	検体検査(1)	血液検査、生化学検査、免疫・血清学的検査の原理を理解するとともに検査値の読み方を学ぶ。	濱田
15	検体検査(2)	血液検査、生化学検査、免疫・血清学的検査の原理を理解するとともに検査値の読み方を学ぶ。	濱田

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験 100%

【教科書】

系統看護学講座 専門基礎 1 解剖生理学：人体の構造と機能（1）（医学書院）（デジタル教科書）

【備考】

Google Classroomを利用して学習資料などを提示する。授業ごとに小テストをGoogle Formを用いて実施するとともに出席状況を管理する。

【学修の準備】

次回の演習内容に相当する範囲を、1年生の時に使用した教科書（系統看護学講座 専門基礎 1 解剖生理学：人体の構造と機能（1）、医学書院）で熟読しておくこと（20分）。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,4